

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。バレーボール男子日本代表は3年後のロサンゼルス五輪を見据えて新たな船出をしています。中でも甲斐選手は最年少でパリ五輪の12人のメンバーにも選ばれていました。無尽蔵なポテンシャルを持ってあましたようなところがあり、ドイツ

戦では最後の場面で登場するといきなりマッチポイントとなるサービスエースを決めました。長身から繰り出すサービス。高橋藍選手も気になる選手として甲斐選手の名前を挙げる実力だそうです。男子日本代表に新しい風が吹き始め、世代交代が必須となっています。

庶民が物価高騰で生活に苦しんでいる事を考えると政治の世界にも同じ風が吹くように願わずにはいられません。厳しい残暑が続きますがくれぐれも皆様もお体に気をつけてください。

サンライズの物語

「最後まで笑顔で挑んだ日々」

— 家族と共に歩み、生き抜く強さを教えてくれた人へ —



その方は、同居のお姑さんを見送りご主人と二人暮らしの方でした。ご夫婦で旅行へ行ったり、美味しい物を食べに行ったりとしていた中、40代の時に乳がんの手術をした経緯がありましたが、全身へと癌が転移していたのです。

新しい抗がん剤を何度も投与していましたが効果が現れずに入退院を繰り返していたのです。

緩和ケア病院へも申し込みをしていた時に自宅で状態が悪化し入院となったのです。ご本人はご主人の負担を考え自宅へ帰る事を諦めていると話されていましたが、ご主人はもう一度自宅へ帰りたいとの願いがあったのです。

そんな中、奇跡的な回復をみせ自宅へ戻ったのです。退院当日にお会いすると自宅での食事が楽しみだと話されていたのです。自宅ではもう一度自分の足で歩きたいと話され訪問リハビリも利用し積極的にリハビリに取り組んでいたのですが、病魔は容赦なく体を蝕み、突然に血糖値が低下し永久の眠りについてしまったのです。

最後まで生きる事を諦めなかった姿勢に私たちは勇気を貰ったのです。いつも笑顔ではなされた顔が素敵で忘れられない方でした。



8月カレンダー工作
折り紙等でビールと枝豆を作り画用紙に飾り付けて作りました。



お誕生日

皆さんでお誕生日の歌を歌って誕生日カードをプレゼントさせていただきました。



NEWS 今月のニュース

認知症になっても、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまちを目指す | 福岡市が推進する「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」に注目

福岡県福岡市では、認知症になっても、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまちを目指す「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」を2018年から実施しています。認知症に関するセミナーの開催はもちろん、「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」策定や、企業と認知症の人をつなぐ取り組みなどを実施。さらに、認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュードOR」の普及啓発にも注力しています。

認知症フレンドリーシティ・プロジェクトは、認知症の人やそのご家族がいきいきと暮らせる

街である「認知症フレンドリーシティ」の実現を目指す取り組みです。2025年現在、福岡市では主に3つの特徴的な施策を推進しています。

認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード」の普及・啓発です。市民や企業、小中学生を対象に講座やイベントを開催することで、認知症に対する理解と円滑なコミュニケーションの実現を目指しています。また、「認知症の人にもやさしいデザイン」の手引き策定と、公共施設や民間施設への導入です。認知症になると、空間認識能力や視覚情報の処理能力が低下しやすくなります。そのため、たとえ馴染みのある場所であっても、トイレの場所がわからなくなるといった困難が生じます。福岡市ではこれを受け、認知症

の人にもやさしいデザインのガイドラインを策定しました。

「福岡オレンジパートナーズ」と「オレンジ人材バンク」の設立もしました。オレンジパートナーズとは、認知症の人や家族、企業・団体、介護・福祉事業者、行政が一体となり、認知症に対する理解を深めると共に、具体的なアクションを進めるための集まりのことです。勉強会の実施に加え、企業と認知症の人が意見交換をするなど、幅広い活動を展開しています。

参加者の傾向としては、高齢の認知症の方や若年性認知症の方、そのご家族などが参加者の中心層となっており、働く世代の方が少ないといえます。日常のコミュニケーションにも活かせる技法だからこそ、より多くの方にユマニチュードに興味を持っていただければうれしいです。

<介護のみらいラボ
2025/7/10 (木) >

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>